

福島県学校農業クラブ連盟

代表者名：成人代表 大和田 範雄

所在地：福島県二本松市

構成員：12校（約2800名）

認証取得高校：

- ・GLOBAL G. A. P. : 2校14品目（岩瀬農業高等学校、会津農林高等学校）
- ・ASIAGAP : 1校2品目（相馬農業高等学校）
- ・JGAP : 8校26品目（福島明成高等学校、安達東高等学校、白河実業高等学校、修明高等学校、小野高等学校、耶麻農業高等学校、相馬農業高等学校、磐城農業高等学校）

取組の紹介

【生産工程管理の改善の取組】

- G A P 認証取得を目指す農業系高等学校10校それぞれが、実習時の衛生管理や資材倉庫の整理整頓のルールを決め、G A P に取り組んだ。福島県学校農業クラブによる学校間や生徒間の交流を通して、10校すべてが認証を取得。



GLOBAL G. A. P. 認証取得のための公開審査
(岩瀬農業高等学校)

【G A P の継続に向けた取組】

- 安達東高校では、オンラインによるG A P 認証支援サービスを活用し、様々な農業生産活動における情報をG A P の点検項目に関連づけた整理を行うなど、I C T の活用により、効率的な工程管理を実践している。



「ふくしま。G A P チャレンジフェア」
(グランイート銀座)

【経営の改善の取組と効果】

- G A P の取組そのものが経営管理能力の向上につながると捉えている。様々なG A P 関連イベントにおいて、生徒自らがその取組を紹介することで、G A P に関する理解度を深め、より詳細な生産管理状況の把握につながっている。



三重県立相可高等学校との交流

【地域の内外への波及効果】

- 県内の農業系高等学校におけるG A P 教育の取組は、全国的な先進事例であり、マスコミ等で取り上げられる機会が増え、注目されている。また、県内外の高校との交流の場を多く設け、互いの課題や目標などの意見交換を実施している。



G A P 教育生徒交流派遣研修
(青森県立五所川原農林高等学校との交流)